

地域よさを積極的に発信したくなる 外国語活動の工夫

—地域の素材を生かした「ふるさとじまんムービー」の作成を通して—

特別研修員 外国語活動 林洋子（小学校教諭）

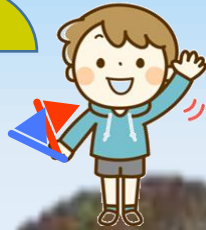
目指す児童像

地域に誇りを持ち、英語で地域のよさを積極的に発信しようとする児童

【地域の特産物を紹介】



We have vegetables.
It's fresh.
It's yummy!



【地域の名所を紹介】



This is our shopping plaza.
You can eat pizza and buy fruits.
Let's go!

▶ 手立て② 地域よさを伝える

“ふるさとじまんムービー”の作成

ムービー作成のポイント⇒本実践での事例

- 相手意識を持たせる
⇒ ALTやALTの母国にいる家族、友人
- 目的意識を持たせる
⇒ 自分たちの住む地域のよさを伝えること
- 英語を使う必然性を持たせる
⇒ 英語でないと伝わらない海外に住む相手

ムービー作成手順

【児童】

- ① 紹介したい地域の特産物や名所を選び、英語表現に慣れ親しむ
- ② 紹介する特産物や名所の動画を背景にムービーを撮影する

【教師】

- ③ 一つのムービーに編集する
- ④ 外国にいるALTの家族、友人に送る

▶ 手立て① 地域を紹介する英語表現に慣れ親しむためのゲーム活動

Game for Listening

- ・地域の名所ビンゴ
- ・地域リスニングゲーム



Game for Speaking

- ・地域オリジナルチャンツ
- ・地域かるたを使ったペア会話活動



【児童の実態】

- 英語を実際の場面で使ったり、目的を持って伝えたりする経験が少ない。
- 地域よさに気付いているが、伝えることを躊躇してしまう。



【成果】

- ・英語でALTやその家族、友人に地域のよさを伝えたいという意欲が、ふるさとじまんムービーの作成を通して高まった。
(自己評価60%→93%)

【課題】

- ・より広く発信したくなる場の設定の工夫
- ・児童の積極的に発信する姿を明確にした評価規準の作成